

学校教育目標	「ともに生きる子 ー信頼と安心と笑顔の学校ー」				
	学校のあいことば「かながえよう! かかわろう! かがやこう!」				
学校概要	創立 49 周年	学校長 小嶋 一喜	副校長 内 和俊	2 学期制	一般学級: 13 個別支援学級: 4
	児童生徒数:	465 人	主な関係校: 旭北中学校 白根小学校		

教育課程全体で育成を目指す資質・能力	〇〇中ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける育成を目指す資質・能力を踏まえた「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
〈自分で考え 判断し 行動する力〉 〈人と豊かに関わり つながる力〉	上白根北中学校 白根小学校 四季の森小学校	自分の気持ちや考えを上手に表現するとともに人の話に耳を傾けてコミュニケーションができ、さらに高い自尊感情をもって自他ともに大切に目標に向かって努力できる子ども ・合同授業研究会を通じた授業改善、授業力の向上。 ・合同研修会を通し、児童・生徒の「観」の共有。 ・教職員間の交流、相互理解。

中期取組目標	<p>○子ども一人ひとりが自分の考えをもち 自分自身のよさを発揮し、まちとともに歩む学校にします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1年目は失敗を恐れず、挑戦する気持ちを育てます。</li> <li>・2年目は他者意識をもって自分も相手も大切にすることを育てます。</li> <li>・3年目は、自分の考えをもちそれを表現できる力を育てます。</li> <li>・3年間を通して、まとのつながりを大切に、まちを愛し、まちから必要とされる関係を構築します。</li> </ul>
--------	--

重点取組分野	具体的取組
知 授業力向上	b1 ①学習状況調査の結果から分析した児童の実態を、朝学習の内容や授業に反映させて学習指導をすすめる。 ②授業の中で児童が考える場や表現する場、また児童に委ねる場面を意図的に設定していく。 ③児童の実態や学年の方針に応じて単元を入れ替えるなど、年間指導計画を柔軟に運用する。
徳 人権教育の充実	b2 ①それぞれの違いを認めたり、尊重したりすることができるよう、発達段階に応じた適切な人権学習の場を、日常的かつ計画的に設定する。また、人権学習や日々の道徳教育の取組について、学年だより等で保護者に発信する機会を設ける。②児童の自己肯定感を高めたり、成長や変容の様子を把握したりするために、情報共有を積極的に行う。③児童が安心して学校生活を送れるよう、教室環境を整える。また、指導する際は、適切な言葉遣いや話し方で伝える。
体 健やかな体	b3 ①体育科の学習を通じて、身に付けさせる力や目指す子どもの姿について情報を共有し、3観点バランスよく指導を進められる体制を整える。 ②縄跳びをはじめ、年間を通じて体や心づくりをして、自己の課題や成長が感じられる取組を進める。関心が持続するよう工夫した活動を行う。
公開 地域連携	b4 ①きずなの会の方々や引き続き連携を図り、教育活動を継続する。子どもたちが、より上白根のまちのよさや、地域の方々の協力を目を向けられるようにする。 ②学校運営協議会では話し合った内容を教職員、保護者に伝えていくとともに、内容によっては子どもたちへも発信していく。
いじめへの対応	b5 ①子どもの気持ちに寄り添うことができるよう傾聴する力を教員一人ひとりが高める。 ②認知されたいじめの経過観察をして、様子を学年やいじめ防止対策委員会でも確認できるようにする。児童の「いじめ」のとらえを確認し、相手の嫌がることはしてはいけないという感性を高める。 ③年度の始めに行なう記名式のアンケートを活用し、YPやアンケートをもとにいじめの目を早期につめるよう学年間で共有の時間を
人材育成・組織運営(働き方)	b6 ①校内のいらぬものの処分を引き続き計画的に行う。備品の管理や整理整頓を行い、よりはたらきやすい環境を整えていく。②ミラ임을効果的に利用する。ミラ임で周知できることは、打ち合わせでは話さないようにすることで、時間を短縮する。加えて、教務会で提案された内容を学年などで確認して、職員会議では全体に話すことの精選をしていく。③授業の始業・終業時刻を守ることを徹底し、児童の下校時刻が遅れないようにする。④校内の様々な業務をベテランの教員と若手の教員が一緒に行い、学校全体で人材を育成していく体制を整える。
特別支援教育	b7 ①上白根小学校で課題となること、全職員が必要としている特別支援教育についての内容を明らかにして研修を行う。②個別級と一般級の連携については、週案や予定の変更、児童情報の共有などを図る。③YPのプログラムを活用していく。
交流活動	b8 ①教師が意図的な仕掛けや励ましを行い、自然発生的な交流を増やしていく。②活動を運営する高学年の負担が大きいため、活動内容を見直し、ゆとりをもって活動できるようにする。③なかよしデーの遊びに目的を設定し、目的に沿って遊びを計画し運営できるようにする。
特別活動	b9 ①児童会テーマを決め、そのテーマに向けて活動する。また、児童会テーマとSDGsの視点を関連付け、SDGsへの意識を高める。②年度初めの代表委員会で代表委員会の年間計画を立て、子どもが見通しをもって活動できるようにする。③議題箱やアンケートなどを用いて、提案や議題の質を高めていく。
	b10